

利用ガイド

15 日本とちがうクリスマス？



依頼と許可

生活の中で人にものを頼まれることや、逆にいろいろなお願いをすることはよくあります。依頼の仕方次第で、してもらえないことをしてもらえない場合もありますし、気持ちよく依頼を聞き入れてもらえる場合もあります。また、子どもたちも、何かしたいときに許可を得なくてはならない場合もたくさんあります。日本語の場合でも、幼稚園児や低学年児童の場合は小さいからといって許された言い方も高学年になると正しい言い方を身につける必要がでてきます。ここでは英語での依頼や許可を得る表現について触れる機会にしましょう。番組では、子どもたちがサイモンと一緒にイギリス人の家庭を訪問して、クリスマスの言い方を体験します。クリスマスに代表される海外の年中行事にも直接触れる機会になります。この機会に各児童の好きな年中行事や学校行事を話題にして、その行事の英語での言い方を知る機会にしましょう。日本でもクリスマスやバレンタインデー、ハロウィーンやイースターなど、海外の行事が知られるようになってきています。それらの行事がいつ行われるかなども話題にしましょう。いろいろな行事と月の名前とを組み合わせて、12の月の名前の言い方についても触れる活動にしましょう。



この表現が英語活動に使える！

- **Can you help me?** : 「手伝ってもらえる？」という依頼をするときの表現。
- **How is it?** : いろいろなことの状態を尋ねる言い方。作業の途中などでよく使われる。
- **May I open it?** : 「～してもいいですか？」と許可を得るときの表現。Openの部分を変えることでいろいろ使える。
- **Merry Christmas!** : 「クリスマスおめでとう！」のあいさつ。

指導上の参考



活動に向けての先生方の準備と練習

①月の名前を確認しましょう。

January(1月), February(2月), March(3月), April(4月), May(5月), June(6月), July(7月), August(8月), September(9月), October(10月), November(11月), December(12月)

②学校行事や日本でも知られている外国の年間行事の名前を確認しておきましょう。

field trip(遠足), summer vacation(夏休み), summer school(サマースクール), sports day/ field trip (体育祭), school festival(学校祭), music contest(音楽会), Mother's Day(母の日), Halloween(ハロウィーン), Christmas(クリスマス), St. Valentine's Day(バレンタインデー), Easter(復活祭)



活動例 (1) 「子どもへの依頼や許可を求める」

【活動内容】

許可や依頼の活動はその必然性のないところでゲーム的に行

【先生が使う言葉の例】

うよりも、英語活動の中で、先生が子どもに手伝いを求めたり、子どもたちから物を借りたりすることを意図的に増やし、その表現に子どもたちが触れる機会を増やすことが必要です。先生が子どもたちに依頼や許可を求める状況ができるだけ活動全般を通して行ってください。

- Akira, can you open the window?
- Can anybody help me? (誰か手を貸して)
- Can you take this to the teacher's room?
- May I use your pencil? (鉛筆を借りてもいい?)



活動例 (2) 「月の名前」

【用意するもの】

- ・ 1から12までの数字を書いたカード(数字の裏にその数字が示す月の名前を書いておくと便利)

【活動内容】

1から12までの数字のカードを、数字の順序をばらばらに見せながら、先生がその数字が示す月の名前を言う。順序を変えながら繰り返す。1月から12月の順序で言わないことで、児童は各月の名前をはっきりわかる。また、睦月、如月、弥生などの漢字を見せて、その月の名前を英語で言う活動にさせることもできる。

【先生が使う言葉の例】

- January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December
- Look at this kanji.
- This kanji means "month".
- What month is it?
- It's July.



活動例 (3) 「誕生日カレンダーを作ろう」

【用意するもの】

- ・ 各月のスペースにその誕生月の児童の名前が書けるようになっている誕生日記入カード
- ・ クラスの児童の誕生月を調べておく。

【活動内容】

先生が児童の誕生月を紹介し、児童は記入用紙にその誕生月の児童の名前を記入する。漢字でもよいが、ローマ字で名前が書けるようであれば書かせる。全員の名前を書き入れた後、だれの誕生日が何月にあるか確認する。児童は記入用紙を確認して月の名前を答える。

【先生が使う言葉の例】

- Akira's birthday is in March. (記入をさせるとき)
- When is Satomi's birthday(記入後確認するとき)



活動例 (4) 「体育祭はいつ？」

【用意するもの】

- ・ 学校の年間予定表
- ・ 海外の年中行事について調べておく。

【活動内容】

年間予定表を見ながら、何の行事がいつあるか確認する活動。学校行事の名前と月の名前を結びつけて聞く機会にする。また、日本で知られている海外の行事の行われる月も調べ、どのようなことが行われているか発表する。

【先生が使う言葉の例】

- When is sports day?
- Is it in October?
- No. It's in September.
- When is Easter?
- Easter is in March or April.



国際理解学習への発展

世界には様々な宗教があります。仏教、イスラム教、ユダヤ教、キリスト教、ヒンズー教などは多くの信者をもつ宗教として知られています。どの宗教でもその歴史や信仰について深く知ることは大変難しいことです。しかし、それぞれの宗教にはその宗教独自の行事や祭りがあります。その宗教の信者でない人たちにとって、これらの行事や祭りはその宗教について知るひとつの手掛かりになります。

番組では、世界に約10億人の信者がいるといわれている、キリスト教のクリスマスを取りあげて、キリスト教の人たちがどのようにクリスマスを祝っているのか紹介しています。しかし、クリスマスと一口に言っても必ずしも一律の祝い方はしていないようです。それぞれの国では、どのようにクリスマスを祝っているか、またクリスマスはどこの国でも12月25日に祝われるかなど、様々な疑問が出てきます。さらに、各国のクリスマスを祝うときの料理の特徴など、子どもたちにとっても興味深い話題を調べてみることで、国際理解としての視点で、クリスマスをとらえることができます。

クリスマスだけでなく、釈迦の誕生日の花祭りや、イスラム教のラマダーンという断食月の行事など、様々な行事や祭りの意味や祝い方を知ることが、宗教と生活が密接につながっている人びとを理解するうえで大変重要な要素です。